

学園の財務状況について — 過去5年間の推移と現状の分析報告 —

1. 過去5年間貸借対照表の推移

単位：百万円

資産の部	18年末		19年末		20年末		21年末		22年末		23年		18年22年対比	科目説明等
有形固定資産	7,461	60%	8,038	65%	8,961	71%	11,321	86%	10,939	87%	—	—	3,478	土地・建物・備品・図書等
その他の固定資産	115	1%	164	1%	196	2%	218	2%	235	2%	—	—	120	貸付金等（長期有価証券・特定預金を除く）
流動資産	4,833	39%	4,092	33%	3,441	27%	1,632	12%	1,376	11%	—	—	△ 3,457	現金等（長期有価証券・特定預金を含む）
資産の部合計	12,409	100%	12,294	100%	12,598	100%	13,171	100%	12,550	100%	—	—	141	
負債自己資金の部	18年末		19年末		20年末		21年末		22年末		23年		18年22年対比	科目説明等
固定負債	527		516		506		501		493		—	—	△ 34	退職給与引当金
流動負債	468		346		527		433		354		—	—	△ 114	未払金・前受金等
負債の部合計	995	8%	862	7%	1,033	8%	934	7%	847	7%	—	—	△ 148	
基本金	11,384		11,917		12,977		15,517		15,518		—	—	4,134	1. 2. 4号基本金
消費収支差額	30		△ 485		△ 1,411		△ 3,281		△ 3,815		—	—	△ 3,845	
自己資金の部合計	11,414	92%	11,432	93%	11,566	92%	12,236	93%	11,703	93%	—	—	289	基本金+消費収支差額
負債自己資金の部合計	12,409	100%	12,294	100%	12,599	100%	13,170	100%	12,550	100%	—	—	141	

2. 過去5年間消費収支計算書の推移

単位：百万円

消費収入の部	18年末		19年末		20年末		21年末		22年末		23年予算		18年23年対比	科目説明等
学生生徒等納付金収入	1,632	80%	1,521	74%	1,335	57%	1,138	39%	1,202	77%	1,268	78%	△ 364	
手数料収入	18	1%	18	1%	18	1%	21	1%	23	1%	23	1%	5	検定料・試験料等
寄付金収入	2	0%	117	6%	586	25%	1,418	49%	3	0%	7	0%	5	19年～都城市寄付
補助金収入	236	12%	234	11%	230	10%	238	8%	296	19%	260	16%	24	経常費補助金
資産運用収入	28	1%	39	2%	22	1%	17	1%	12	1%	12	1%	△ 16	
資産売却差額	0	0%	18	1%	10	0%	1	0%	9	1%	4	0%	4	有価証券等売却益
事業収入	7	0%	8	0%	10	0%	2	0%	5	0%	5	0%	△ 2	
雑収入	109	5%	87	4%	123	5%	83	3%	12	1%	39	2%	△ 70	退職金財団交付金
帰属収入合計	2,032	100%	2,042	100%	2,334	100%	2,918	100%	1,562	100%	1,618	100%	△ 414	

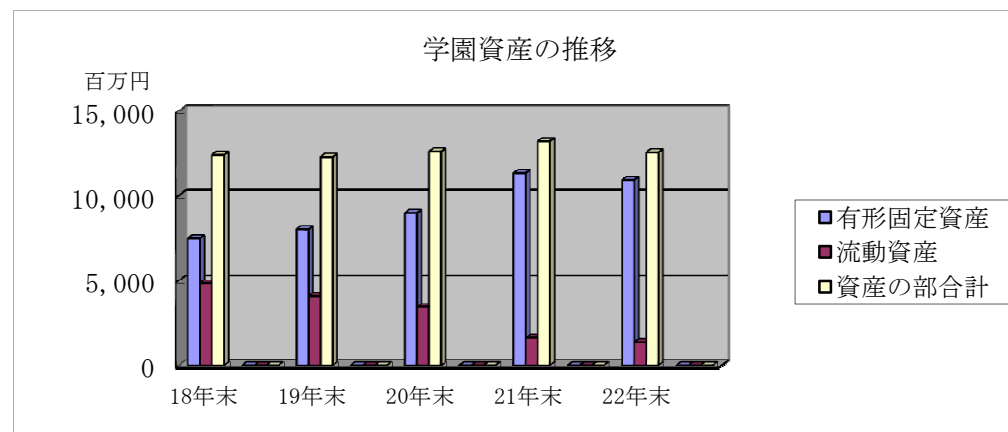
消費支出の部	18年末		19年末		20年末		21年末		22年末		23年予算		18年23年対比	科目説明等
人件費	1,149	61%	1,166	66%	1,194	75%	1,139	82%	1,052	69%	1,103	71%	△ 46	
教育研究経費	641	34%	670	38%	692	44%	828	59%	850	56%	819	53%	178	
(内減価償却)	314		305		305		397		466		457		143	
管理経費	150	8%	187	11%	315	20%	280	20%	181	12%	157	10%	7	
(内減価償却)	22		21		21		26		21		20		△ 2	
資産処分差額	16	1%	0	0%	0	0%	0	0%	14	1%	2	0%	△ 14	資産売却処分損
(予備費)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	—		
消費支出の部合計	1,956	104%	2,023	114%	2,201	139%	2,247	161%	2,097	138%	2,121	137%	165	

	18年末	19年末	20年末	21年末	22年末	23年予算	18年23年対比	科目説明等
当年度帰属収支差額	76	19	133	671	△ 535	△ 503		帰属収入－消費支出
修正後帰属収支差額	90	△ 116	△ 463	△ 748	△ 533	△ 512		(帰属収入－寄付金－資産売却差額) －(消費支出－資産処分差額)
当年度資金余剰額	410	228	△ 127	△ 324	△ 51	△ 33		(帰属収入－寄付金) －(消費支出－減価償却)

## 1. 過去5年間における学園資産（財産）の推移について

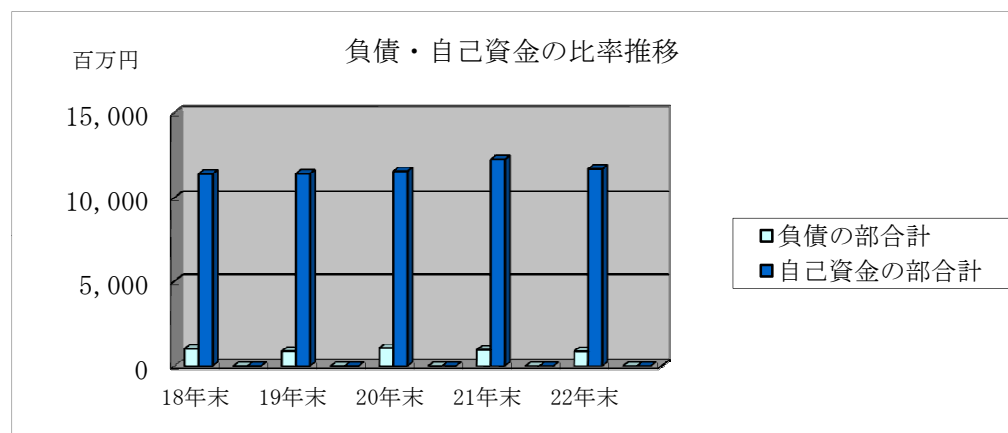
平成21年度末は都城キャンパス施設増により有形固定資産は大幅増となりました。22年度については減価償却により若干減少しています。このことは、都城キャンパスへの投資を終えて、キャンパス整備が一段落したことをあらわしています。

あえて問題点をあげるなら、資産の内訳です。有形固定資産（土地・建物・備品・図書・車輛等）の比率がここ数年高まり流動資産（現預金・有価証券等）が減少していることです。この点については、今後中期的に是正が必要です。



## 2. 過去5年間における負債・自己資金比率推移について

上記1の学園資産（財産）が何によって形成されたかを示すのが右表です。この5年間、学園財産形成は全て自己資金で賄われておりいわゆる無借金経営であることがわかります。この点で言えば本学は優良企業であります。



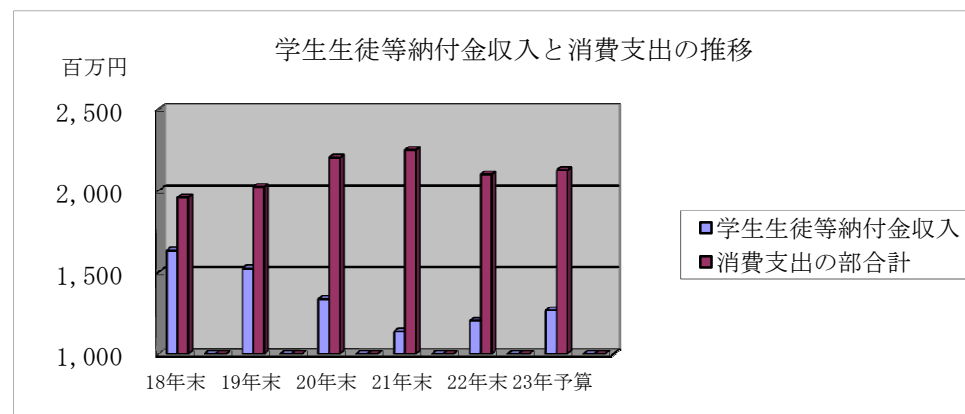
### 3. 学生納付金収入の推移と収支均衡バランスについて

本学の収入に占める学生納付金収入割合は平成23年度予算において帰属収入の78%を占めています。本学にとって「学生納付金収入」は、収入の要であります。

そこで、学生納付金収入と支出総額について過去5年間の推移を右のグラフに示して、収支バランスを考察してみました。

学生納付金収入は、平成21年まで減少傾向が続きました。逆に消費支出はこの間増加が継続し、明らかに収支均衡を欠く結果となりました。

しかし、この傾向は平成22年度から改善される傾向にあります。今後も引き続き、収入増と支出減の具現化に取り組む必要があります。



### 4. 過去5年間の収支差額（黒字・赤字）について

本学の収支差額（黒字・赤字）は帰属収支差額において判断することができます。この帰属収支差額は22年度末から赤字になっていますが、19～21年度本学は都城キャンパス設置経費の補助として特別寄付を受けています。この寄付金は支出を特定するもので、本計算書における支出の対象外とするのが妥当です。

よって、この寄付を除いた収入計により実質的な収支差額を表したものを修正後帰属収支差額として算出しました。これによれば、平成19年に本学の収支は赤字になって以降、21年まで赤字幅は拡大してきました。また、支出総額から減価償却分を控除して算出した資金余剰額も20年度からマイナスに転じ、厳しい財政状況となっています。22年度からはこちらも改善の傾向にありますが、抜本的な財政改善にはまだ数年を要する状況です。

